

白井第三小学校区まちづくり協議会設立準備会

地域の交流・活性化・ 地域環境ワーキンググループ グループ会議報告書



ワーキンググループメンバー

リーダー：岩崎 巖

サブリーダー：森岡 義人

メンバー：齋藤 勇、島森 利美、鈴木 順子、石田 里美、阿部 佳代子

1	分野 防災	地域課題キーワード	地域課題の具体的内容	評価の まとめ	
		①防災意識	地域・住民間の意識の差・温度差		
		②避難所・防災倉庫	避難所・防災倉庫が少ない		
		③道路	冠水・道路狭く火災時に心配		
取組み項目	重要性	withコロナの 実現性	withコロナの 優先順位	平常時の 実現性	平常時の 優先順位
(1) 防災リーダー育成研修の開催	31	31	2	33	1
(2) 防災訓練の開催	25	9	5	25	3
(3) 子ども向け防災教室の開催	21	13	5	21	4
(4) 大人向け防災勉強会・教室の開催	21	19	4	25	4
(5) 地域防災マップの作成 ※	31	35	1	31	2
(6) 防災組織の充実	21	25	3	23	5

ワーキンググループで出た主な意見

- ◇ 地域防災マップ作製は平常時でもコロナでもできる。子どもがみてもわかりやすいものだと良い。
- ◇ 組織づくり充実していく必要があるが、徐々にやっていけばよい。すぐには作れない。
- ◇ 「自分の命は自分で守る」教室を開くのが大事では。災害は近々に起こるといわれている。組織をつくる時間ないのでは
- ◇ それぞれの町内会に防災リーダーがいると良い。
- ◇ リーダー研修しながら組織を作ってみてはどうか。リーダーの育成大事
- ◇ リーダーが先か組織が先か。自分達でできることはなにか。
- ◇ 何をやるにしてもリーダーは必要ではないか。リーダーがいないとほじまらない。
- ◇ 訓練については、子供向けのものがあると人も多くくるのでは。しかしコロナでは難しいかもしれない
- ◇ 子ども向けのものも必要だが大人がしっかりしている必要がある。いざという時動くのは大人。
- ◇ コロナでの訓練は難しいが、訓練をしているといざという時に動ける。
- ◇ 実際に災害が起きたら避難する人もいるわけだから訓練は大事。
- ◇ 災害は来ることが前提であるから、それを念頭に訓練は常にしておくべき。
- ◇ 自治連合会で行ったHUGは誰でも参加できる、避難所運営について考えるきっかけとなって非常に良かった。
- ◇ 組織ができていない以上このままで良いと思う
- ◇ 防災組織が引っかかる、組織は必要だと思うが先に育成が大事だと思う

- ◇ 防災は大事だと思う、前回自分は近々のことを考えた発言をした
- ◇ 10年かけての組織づくりはいいが災害はすぐ起こるかもしれない、自分の命は自分で守るという言葉を考えて
- ◇ すぐ身になる訓練を高得点とした
- ◇ 防災リーダーは何人くらい必要なのか

まちづくり計画 目標・取り組み(事業名)・取り組み(事業)内容

将来像	テーマ (分野)	目標 (基本方針)	取り組み(事業)名	取り組み(事業)内容
<p>子どもと大人がふれあうまち</p>	<p>防 災</p>	<p>(案1) 地域の絆 守ろう命</p> <p>(案2) 守ろう 命と地域の絆</p>	<p>1. 防災リーダー育成研修の開催</p> <p>2. 地域防災マップの作成</p> <p>3. 防災教室の開催</p> <p>4. 防災訓練の開催 ※リーダーを中心とした訓練。</p> <p>5. 防災組織の充実</p>	<p>①各自治会・各団体の責任者を選定する</p> <p>①まち協委員による学区内の道路・施設等調査 ※小中学校で配布されている防犯マップなども併せた多機能マップが理想的。</p> <p>①大人向け防災勉強会の開催 ②子ども向け防災教室の開催 ※遊びを取り入れるなど、やさしいものから徐々にレベルを上げていく。</p> <p>①防災訓練の開催</p>

4	分野	地域課題キーワード	地域課題の具体的内容	評 価 の め ま と め		
	地域の交流・活性化	①交流機会	若い人が参加できる機会が少ない、若い世代と高齢者世代の交流や新旧住民の交流が少ない、富士センターの有効活用			
取組み項目		重 要 性	withコロナの実現性	withコロナの優先順位	平常時の実現性	平常時の優先順位
(1) 空き家の有効活用		19	15	3	21	4
(2) 世代間交流の推進		33	15	2	35	1
(3) 小学校区運動会の開催		21	9	5	19	4
(4) ラジオ体操の推進		15	11	6	17	6
(5) 白井音頭による地域交流の推進		19	11	5	17	5
(6) 自治会対抗ゲーム大会の開催		21	11	4	21	3
(7) 挨拶の啓発活動の実施		29	33	1	33	2
(8) お見合いイベントの開催		11	9	7	11	7

ワーキンググループで出た主な意見

- ☆ (1) 空き家の有効活用は実現性が低いと思った
- ☆ 世代間交流は重要
- ☆ 実現性が高そうなものから得点をつけた
- ☆ 世代間交流・挨拶の啓発は大事だしやりやすいと思った
- ☆ 空き家の問題は重要だが奥が深い
- ☆ (1) 空き家の有効活用と (7) 挨拶の啓発運動の実施以外はイベントものなので、現状難しい
- ☆ 中学生になると挨拶をしなくなる
- ☆ (4) ラジオ体操の推進、(5) 白井音頭による地域交流の推進はなぜ特出しになっているのか
⇒これまでの準備会でとりまとめてきた経緯を説明 (ワークショップで教頭先生からの提案、今白井音頭を踊れない子が多いこと、子ども達が地域になじんでもらうのに良い、など)
- ☆ (7) 挨拶の啓発運動の実施はとても重要だと思う
- ☆ 地域交流はとても大切だと思う
- ☆ (2) 世代間交流の推進と (3) 小学校区運動会の開催について、できるできないは別としてとても良いと思う
- ☆ (1) 空き家の有効活用について、市内に2千軒以上の空き家がありこの地域だけでない課題
- ☆ 「あいさつ」は大事なことだがやって当たり前のものだと思う、あいさつが当たり前の地域にしたい

- ◇ 以前は小学校の運動会で白井音頭を踊っていたが、近隣の苦情（騒音）等でやめた経緯があった
- ◇ 昔は各学校の先生たちが白井音頭を踊ることができ、子ども達に教えていたので踊れたが、やめた関係で踊れなくなったのも一因ではないか
- ◇ 第三小学校区では町民運動会開催以前に「ふれあい運動会」という地域運動会をやっていた
- ◇ 空き家の有効活用は実現性が低いと思う

まちづくり計画 目標・取り組み(事業名)・取り組み(事業)内容

将来像	テーマ (分野)	目標 (基本方針)	取り組み(事業)名	取り組み(事業)内容
<p>子どもと大人がふれあうまち</p>	<p>地域の交流と活性化</p>	<p>(案1) 地域の交流はあいさつから</p> <p>(案2) 交流のはじまりは あいさつから</p> <p>(案3) あいさつは「住み続けたい まち」への第一歩</p>	<p>1. 挨拶の啓発活動の実施</p> <p>2. 世代間交流の推進</p>	<p>①挨拶の啓発活動の実施</p> <p>①小学校区運動会の開催 ②ラジオ体操の推進 ③白井音頭による地域交流の推進 (学校と連携) ④自治会対抗ゲーム大会の開催 ⑤お見合いイベントの開催</p>

8	地域環境	地域課題キーワード	地域課題の具体的内容	評 価 の め		
		①交通(バス・鉄道)	バス本数が少ない、バスルートが不便、鉄道運賃高い、車がないと移動が不便、道路渋滞			
		②道路・通学路	道路が狭い、道路・通学路の未整備			
		③遠い	駅・小学校・公共施設・投票所が遠い			
		④公園	公園が少ない、ベンチが必要			
		⑤空き家	空き家が増加			
		⑥施設	娯楽施設がない、集まる場所がない			
取組み項目		重 要 性	withコロナの実現性	withコロナの優先順位	平常時の実現性	平常時の優先順位
(1) 空き家の現状把握と活用の検討				1		1

ワーキンググループで出た主な意見

- ◇ 空き家だけになったのはなぜか。
- ◇ 課題キーワードの道路・通学路については、今後自治連やまち協がバックアップをしていく必要がある。
- ◇ まち協は要望・陳情を行うだけではなく住みやすさ、地域の魅力向上のため。
- ◇ 課題キーワード施設は空き家と関連づけていくものか？娯楽施設のプロ的なものは無理では？
- ◇ コロナであっても少人数、回数を増やすなど検討の余地がある。
- ◇ 地域環境の中では交通部分で免許返納者へのサポート等できるのではないか。
- ◇ 活用には重きを置かず、把握の部分はコロナでもできるし重要と考えた。
- ◇ 活用の検討は空き家の内部も把握しないと難しいと思う。しかし現状の把握はできる。
- ◇ 把握は必要だと思う
- ◇ 地域環境というカテゴリーにはもっとできる（重要なこと）があるのではないかと考えた。
- ◇ ワークショップで防犯カメラもでたが空き家について盛り上がり過ぎてしまった。
- ◇ 空き家が不法投棄の場になっている。不法侵入など防犯上の問題は大きい。
- ◇ 空き家は種類がある。
- ◇ 空き家については分野が複数にあるので整理した方がいいのでは。全体会で提案する。
- ◇ 評価対象は1つしかないが、評価が分かれるのはおかしくない。個々の判断でよいと思う。
- ◇ 地域環境は空き家だけではない。
- ◇ 環境というのが考え方難しい。
- ◇ 地域づくり、まちづくり、自分達でできることの地域環境。
- ◇ 地域環境として空き家が増えるとどんな問題があるか
- ◇ 空き家へらすのにはどうするかを考えるべき

- ◇ 若い人のショップだけでなく音楽の演奏会など活用は色々されている
- ◇ まちの力→商店の力も大きい（街路灯）
- ◇ うまい使い方をしないと知らない人の出入りなど不安な面もある
- ◇ 空き家が増えていくのはいたしかたない
- ◇ 空き家を少なくする提言はできるのでは（まち協ができてから）
- ◇ 商工会が取り組もうとして（市も）とんざした
- ◇ 白井は通勤圏、働く場があるということを全国に発信して住民増加が期待できる。

まちづくり計画 目標・取り組み(事業名)・取り組み(事業)内容

将来像	テーマ (分野)	目標 (基本方針)	取り組み(事業)名	取り組み(事業)内容
<p>子どもと大人がふれあうまち</p>	<p>地域環境</p>	<p>(案) みんなで考える明るいコ ミュニティ</p>	<p>1. 空き家の現状把握と活用の 検討</p>	<p>①現状を把握するための調査 ②活用の検討</p>